

ソフトバンク株式会社

2025年6月



ビジネス・コンシェル デバイスマネジメント

MDM証明書の 新規作成・更新方法について

Ver4.4

SoftBank

ソフトバンクは、お客様のプライバシーを 最優先に考えます

パーソナルデータの活用は、今日の社会において
あらたな価値の創造や技術発展の原動力となっています。

私たちソフトバンクは、セキュリティ対策や社内データ管理体制の強化に取り組み
専門家の活用やパートナー企業との連携強化を行うなど
お客様のプライバシー保護に努めてまいります。

ソフトバンク株式会社

- ・この資料にて記載している事柄は、管理対象となる
iPhone/iPadのデバイス登録をおこなう前に本作業をおこなう必
要がありますので、必ず実施してください。
- ・資料内に、MDM証明書を無効化する項目についての記載が
ありますが、無効化を実施すると管理対象デバイスの登録作業
からやり直しになりますので、実施しないようにしてください。

- MDM証明書を発行するのはパソコンからのみになります。
- iPhone・iPadからは作成できません。
- 作成時、Apple社のWebサイトにアクセスして作業をしますが、
Internet Explorer (ie) を使用すると
実行に失敗するケースが多く報告されておりますので、
ie以外のブラウザで作成してください。
- 「Apple ID」は現在、「Apple Account」に
名称が変更されておりますが、資料の都合上「Apple ID」を
使用させていただきます。

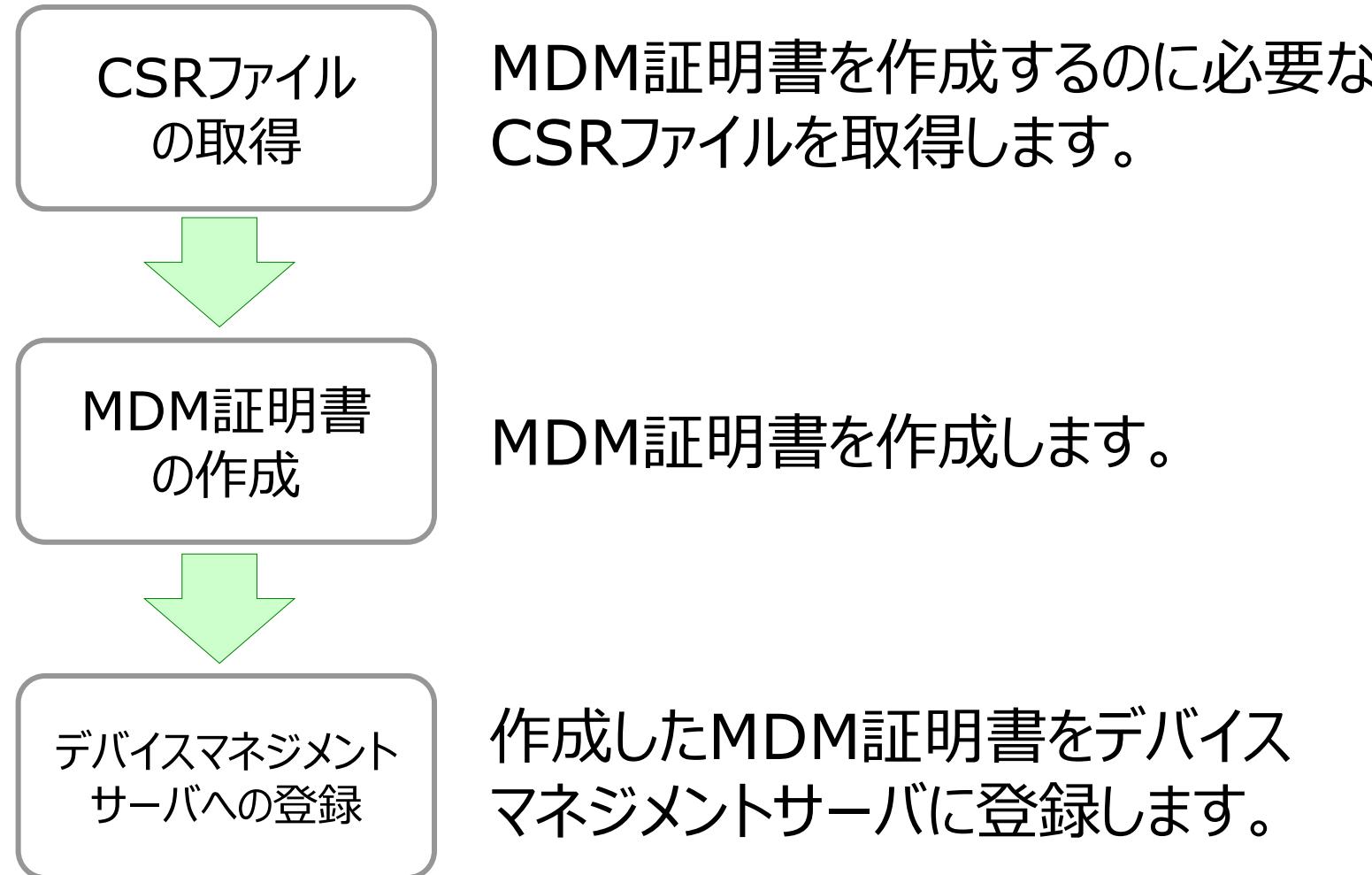
MDM証明書を作成するには、**Apple IDが必要**になります。

ほかのAppleのサービスで一切使用していない、

本作業専用のApple IDをご用意ください。

- ・Apple IDはEメール形式のものである必要があります。
- ・Apple ID取得に費用はかかりません。
- ・管理者様が1つ取得していただければよいものです。
- ・個人のメールアドレスのApple IDで作業されると、1年後のMDM証明書更新時に当事者が退職するなどしてメールアドレスが使用不可になった場合、異なるApple IDで証明書を更新する方法はありません。異なるApple IDで新規証明書登録が必要になります。その際、全デバイス登録削除・再デバイス登録作業実施・プロファイルとアプリ配り直しが発生するため、**初回証明書登録時のApple IDはグループメールアドレス使用を推奨**いたします。

詳細はこのマニュアルの「**使用するApple ID詳細**」ページをご覧ください。



MDM証明書の作成（新規）

MDM証明書を作成するのに必要なCSRファイルを
デバイスマネジメントサーバから取得します。

ログイン後、設定をクリックします。

iOS証明書登録メニューをクリックします。



CSRの項目にあるCSR発行ボタンをクリックし、他の画面に移動し、

1分ほど待ってから再度iOS証明書登録メニューをクリックします。

※1分待たなかった場合、正常に登録ができません。

その場合、作業を繰り返す分には影響はございませんので、再試行をお願いいたします。



CSRファイルが作成されましたので、ファイル出力ボタンを
クリックします。



出力したCSRファイルは、MDM証明書作成時に必要になりますので、わかりやすい所に保存しておいてください。

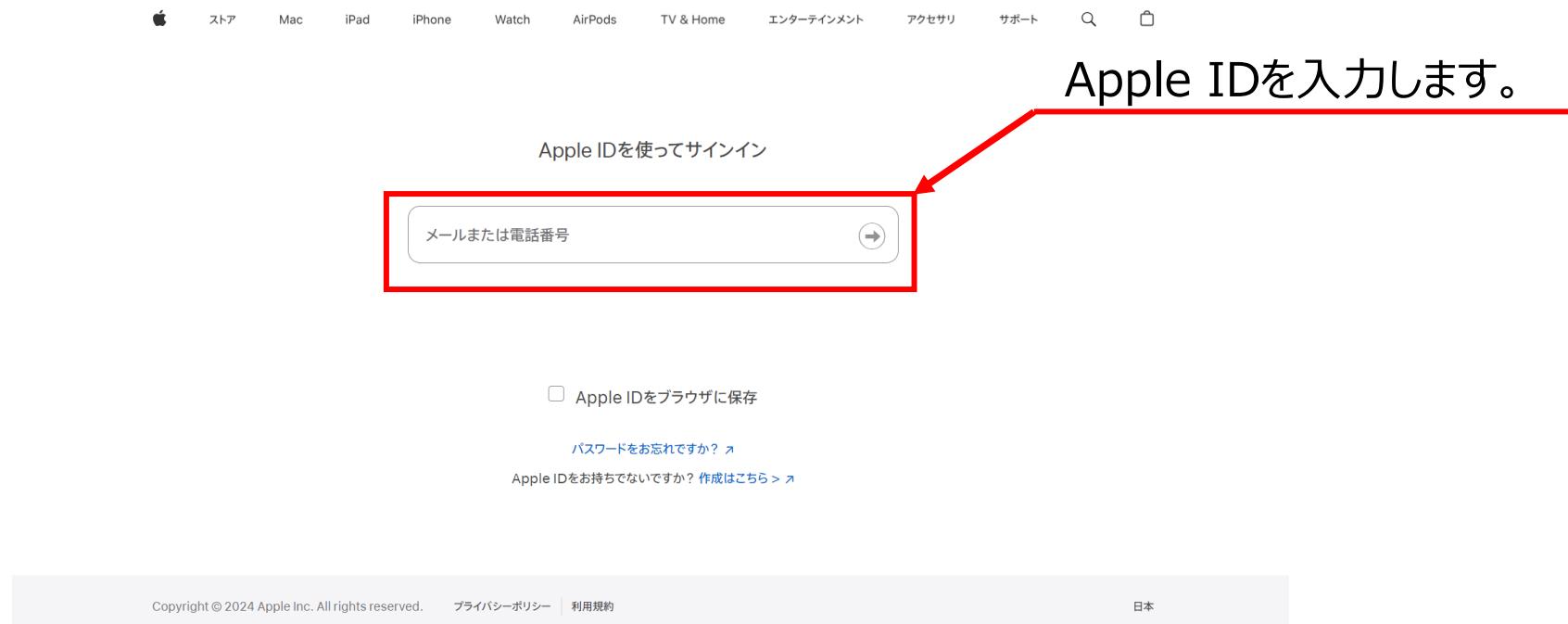
※PushCertificate_XXXXXXXXX.csr というファイルができます。

**MDM証明書作成後、この画面を使用しますので
そのまま開いておいてください。**

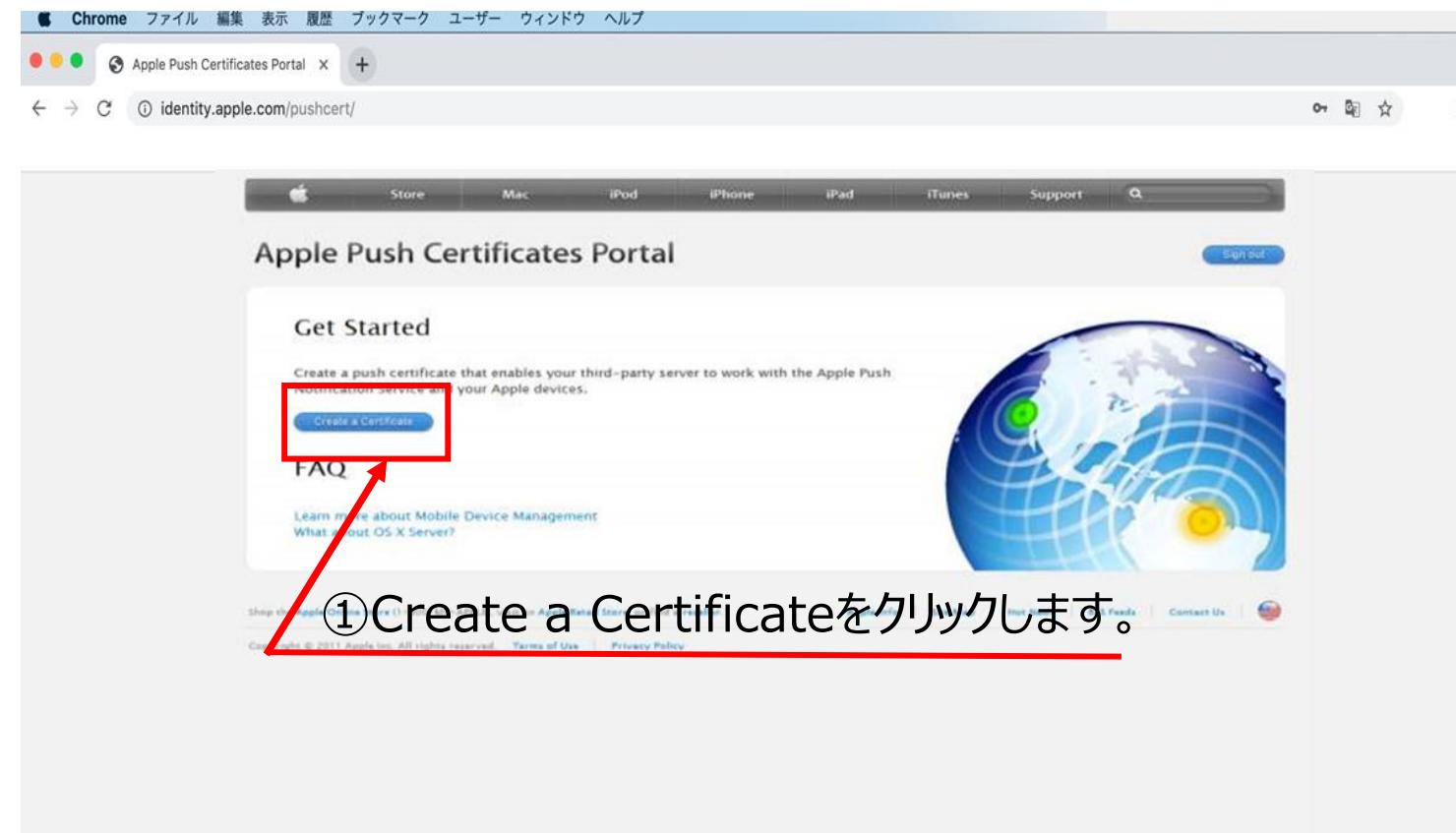
MDM証明書の取得をする為に、以下のWebサイトにアクセスし、
Apple IDを入力してログインします。

Apple Push Certificates Portal

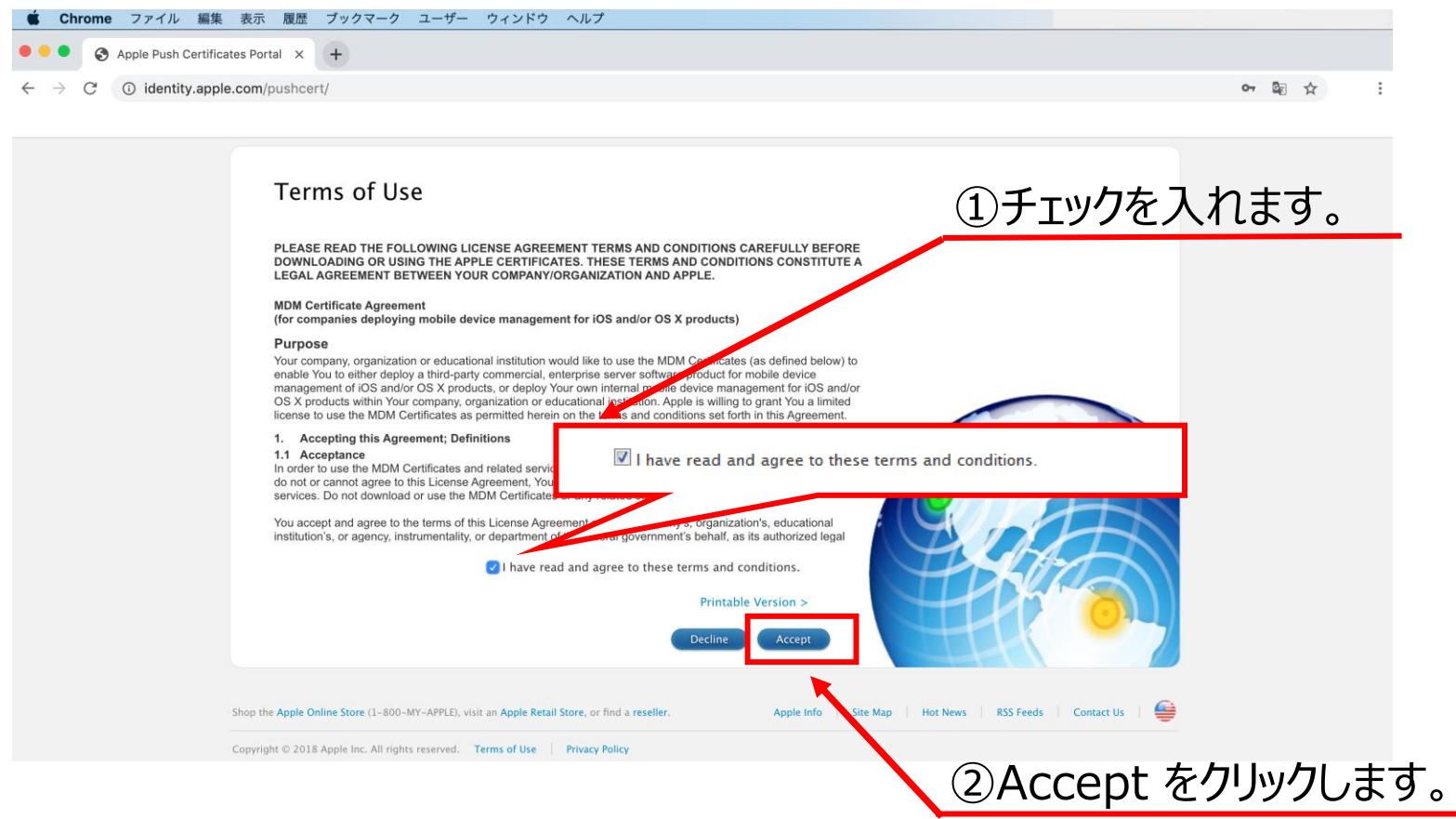
<https://identity.apple.com/pushcert/>



MDM証明書の作成を開始します。



MDM Certificate Agreement の内容に同意して、チェックを入れ、Accept をクリックします。



管理サーバから取得したCSRファイルを読み込ませ、
Uploadボタンをクリックします。



※M5・M6環境で、Vendorの表示が異なります。

DownloadボタンをクリックしてMDM証明書をダウンロードします。

- ・M5環境の場合 : MDM_ IoT-EX Inc._Certificate.pem
- ・M6環境の場合 : MDM_ SOFTBANK Corp._Certificate.pem



※M5・M6環境で、Vendorの表示が異なります。

作成したMDM証明書をデバイスマネジメントサーバに登録します。

MDM証明書ファイルを保存してある場所を指定して、
登録ボタンをクリックします。

使用したApple IDを入力して登録ボタンをクリックし完了です。

(この欄は、使用したApple IDを忘れないための単なるメモ書きエリアです。)

証明書情報 (SoftBank)

証明書	<input type="button" value="ファイルを選択"/> 選択されていません <input type="button" value="登録"/>
Subject DN	MDM_[REDACTED]
有効期限	2025/[REDACTED]
使用したApple ID	<input type="button" value="編集"/> [REDACTED].com

MDM証明書の更新

本項にて記載している事柄は、MDM証明書の更新作業についての事項となります。

- ・iPhone/iPadをご利用のお客様は**年に一回、本作業をおこなう必要があります**ので、必ず実施してください。
- ・MDM証明書を更新するには、**初回登録時に**利用したApple IDが必要になります。
- ・初回に登録したApple IDを紛失した状態で、なおかつApple IDを変更したい場合は、**全デバイスの再登録作業**が必要になります。
詳細はこのマニュアルの「使用するApple ID詳細」ページをご覧ください。
- ・本案内についてはメールにて、【ビジネス・コンシェル デバイスマネジメント】**重要**：MDM証明書の有効期限切れに関するご案内(Mxxxxxxxx) のタイトルでMDMヘルプデスクからもご案内させて頂いております。

【①Apple IDのパスワードを忘れた場合】

iforgot.apple.com にアクセスし、既存のパスワードでアカウントのロックを解除するか、パスワードをリセットしてください。

アカウントのロック解除を何回も試して失敗した場合、Apple ID はロックされたままになります。翌日にまた解除を試してください。

■ Apple ID がロックされた場合や使用できなくなった場合

<https://support.apple.com/ja-jp/HT204106>

【②現在使用しているApple IDに紐づいているMDM証明書を、「新しいApple ID」で更新(Renew)したい場合】

現在使用しているApple IDに紐づいているMDM証明書を、「新しいApple ID」で更新(Renew)したい場合、作業内容としてはApple社の範疇となるため
弊社で対応はいたしかねます。
対応にあたってはApple社へお問い合わせをお願いいたします。

- AppleCare OS Support (有償) の契約をお持ちの場合：
下記AppleCare OS Support (ACOS) からお問い合わせください。
<https://www.apple.com/jp/support/professional/it-departments/>
- AppleCare OS Support (有償) の契約をお持ちでない場合：
下記URLより該当の連絡先へお問い合わせください。
<https://support.apple.com/ja-jp/118629>

【③MDM証明書登録時のApple IDを紛失・担当者退職のため新しいApple IDで運用されたい場合】

MDM管理サイト上の登録済みデバイスを全削除の上、MDM証明書削除、新しいApple IDにて、MDM証明書取得、登録、デバイス登録が必要となり、旧Apple ID継続での利用はできません。

また、アプリやプロファイル配り直しが発生します。

そのため、MDM証明書のApple IDについては、個人利用のApple IDではなく、企業用のグループアドレスの利用を推奨いたします。

③のケースでは、

お客様側ではMDM証明書の削除ができないため、営業又はヘルプデスクにて削除依頼をいただければと存じます。

MDM証明書削除までの流れについては以下のようになります。

▼MDM証明書再設定(MDM証明書削除)手順

- 1.MDM管理サイトより全てのデバイス(iOS)をデバイス削除(お客様作業)
- 2.既存MDM証明書の削除(弊社作業)

※**依頼を受けてから2~3営業日**で削除が完了します。

※弊社にて実施致しますので、iOSのデバイス削除が完了致しましたら、ご連絡下さい。

- 3.新しいApple IDにて、新しいMDM証明書の作成及び登録(お客様作業)
- 4.各デバイスにてデバイス登録の実施(お客様作業)
- 5.必要に応じて構成プロファイルの配布やアプリの配布実施(お客様作業)

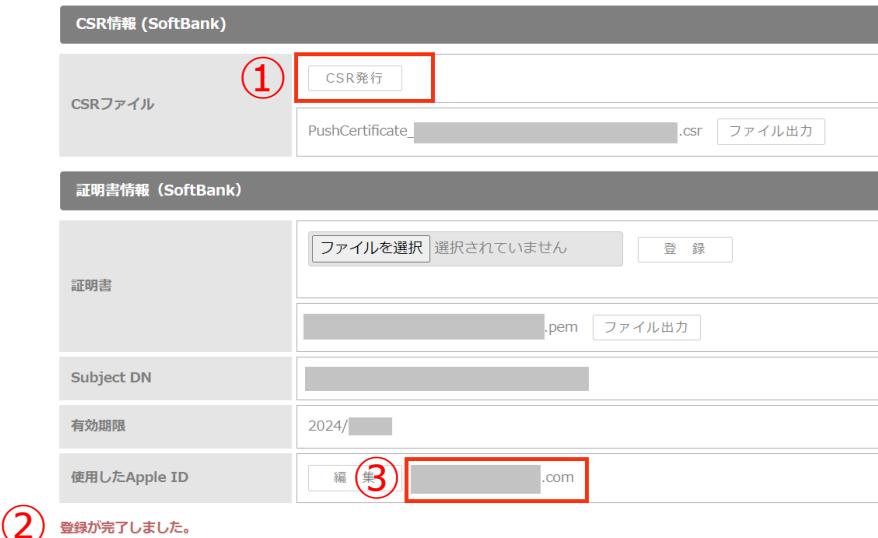
MDM証明書を更新するのに必要なCSRファイルを
デバイスマネジメントサーバから取得します。

ログイン後、設定をクリックします。

iOS証明書登録メニューをクリックします。



- ①のCSRの項目にあるCSR発行ボタンをクリック後②の「登録が完了しました。」が表示されます。他の画面に移動し、**1分ほど待ってから**再度iOS証明書登録メニューをクリックします。
- ③に使用したApple IDの記載がある場合はメモします。



CSR情報 (SoftBank)

CSRファイル

① CSR発行

PushCertificate_.csr ファイル出力

証明書情報 (SoftBank)

証明書 ファイルを選択 選択されていません 登録

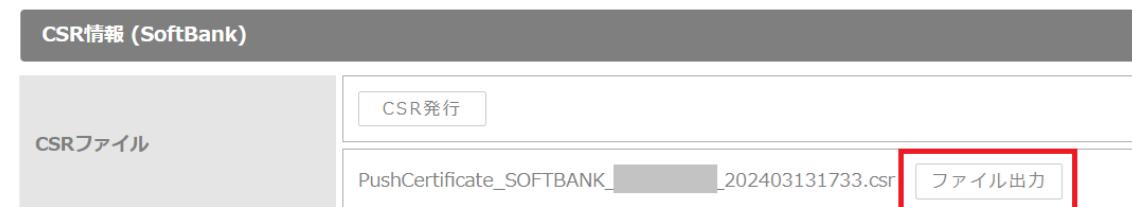
Subject DN .pem ファイル出力

有効期限 2024/

使用したApple ID 編集 ③ .com

② 登録が完了しました。

CSRファイルが作成されていますので、ファイル出力ボタンをクリックします。



CSR情報 (SoftBank)

CSRファイル

CSR発行

PushCertificate_SOFTBANK_202403131733.csr ファイル出力

※1分待たなかった場合、
正常に登録ができません。
その場合、作業を繰り返す分
には影響はございませんので、
再試行をお願いいたします。

出力したCSRファイルは、MDM証明書更新時に必要になりますので、わかりやすい所に保存しておいてください。

※PushCertificates_XXXXXXXXX.csr というファイルができます。

MDM証明書作成後、この画面を使用しますので
そのまま開いておいてください。

MDM証明書の更新をする為に、以下のWebサイトにアクセスし、MDM証明書を初回作成したときに使ったApple ID（CSRファイルの取得②でメモしたもの）にてログインします。

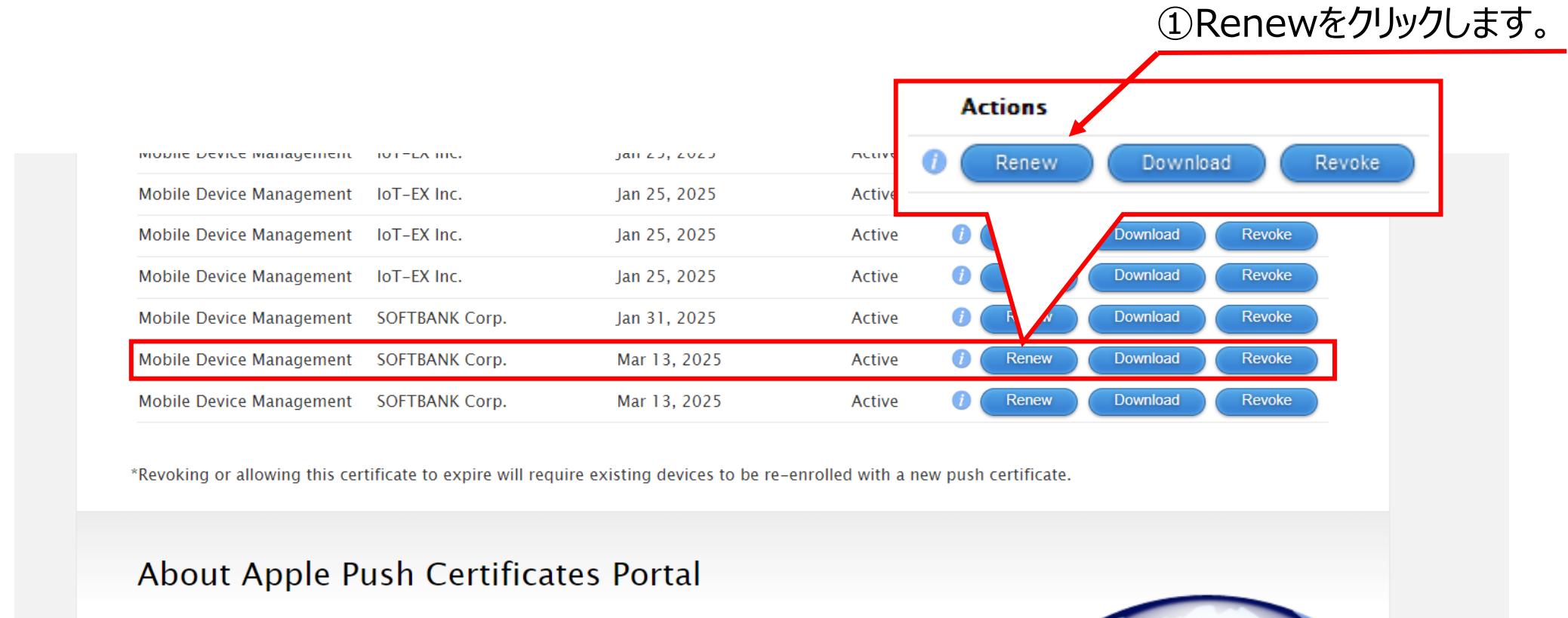
Apple Push Certificates Portal

<https://identity.apple.com/pushcert/>



管理メニューから現在利用しているMDM証明書の欄にある
Renewボタンをクリックします。

①Renewをクリックします。



The screenshot shows a table of MDM certificates. The second row from the bottom is highlighted with a red box. An arrow points from the text "①Renewをクリックします。" to the "Renew" button in the "Actions" column for this row. The "Actions" column contains four buttons: "i" (Info), "Renew" (highlighted with a red box and arrow), "Download", and "Revoke".

MOBILE DEVICE MANAGEMENT	ISSUER	EXPIRATION DATE	STATUS	Actions
Mobile Device Management	IoT-EX Inc.	Jan 25, 2025	Active	<i>Download</i> <i>Revoke</i>
Mobile Device Management	IoT-EX Inc.	Jan 25, 2025	Active	<i>Download</i> <i>Revoke</i>
Mobile Device Management	IoT-EX Inc.	Jan 25, 2025	Active	<i>Download</i> <i>Revoke</i>
Mobile Device Management	SOFTBANK Corp.	Jan 31, 2025	Active	<i>Download</i> <i>Revoke</i>
Mobile Device Management	SOFTBANK Corp.	Mar 13, 2025	Active	<i>Renew</i> <i>Download</i> <i>Revoke</i>
Mobile Device Management	SOFTBANK Corp.	Mar 13, 2025	Active	<i>Renew</i> <i>Download</i> <i>Revoke</i>

*Revoking or allowing this certificate to expire will require existing devices to be re-enrolled with a new push certificate.

About Apple Push Certificates Portal

※M5・M6環境で、Vendorの表示が異なります。

管理サーバから取得したCSRファイルを読み込ませ、
Uploadボタンをクリックします。



※M5・M6環境で、Vendorの表示が異なります。

DownloadボタンをクリックしてMDM証明書をダウンロードします。



※M5・M6環境で、Vendorの表示が異なります。

出力したpemファイルは、次頁のMDM証明書更新に必要になりますので、わかりやすい所に保存しておいてください。

- ・M5環境の場合：MDM_IoT-EX Inc._Certificate.pem
 - ・M6環境の場合：MDM_SOFTBANK Corp._Certificate.pem
- というファイルができます。

先程作成したMDM証明書ファイル（.pem）を
デバイスマネジメントサーバに登録します。

- ①にてMDM証明書ファイルを保存してある場所を指定し、
保存した証明書ファイルを選択して登録ボタンをクリックします。
- ②で有効期限が更新されている事を確認し完了です。
- ③で使用したApple IDを入力して登録ボタンをクリックします。

※すでにApple IDを入力している場合は不要です。

証明書情報 (SoftBank)

証明書	<input type="button" value="ファイルを選択"/> 選択されていません <input type="button" value="登録"/>
	MDM [REDACTED].pem <input type="button" value="ファイル出力"/>
Subject DN	[REDACTED]
有効期限	2025/ [REDACTED]
使用したApple ID	<input type="button" value="編集"/> [REDACTED].com

MDM証明書更新後、BCDM管理サイトの「デバイス一覧」にて、「最新情報に更新」を押下し、管理サイトとデバイスの疎通が取れるかご確認下さい。

※疎通が取れると青色マークの「更新成功」ステータスとなります。



ビジネス・コンシェル デバイスマネジメント

前回ログイン日時: 2021/01/21 17:03:41

デバイス一覧

最新情報に更新

デバイス名	モデル名	OS	電話番号	氏名	収集日時	登録日時	シリアル	部署1	部署2	部署3	任意1
iPhone	[REDACTED]	14.1 (18A8395)	[REDACTED]		2021/02/15 12:01	2021/02/04 10:15	[REDACTED]				
iPhone	[REDACTED]	13.3.1 (17D50)	[REDACTED]		2021/02/15 12:01	2021/01/21 17:12	[REDACTED]				

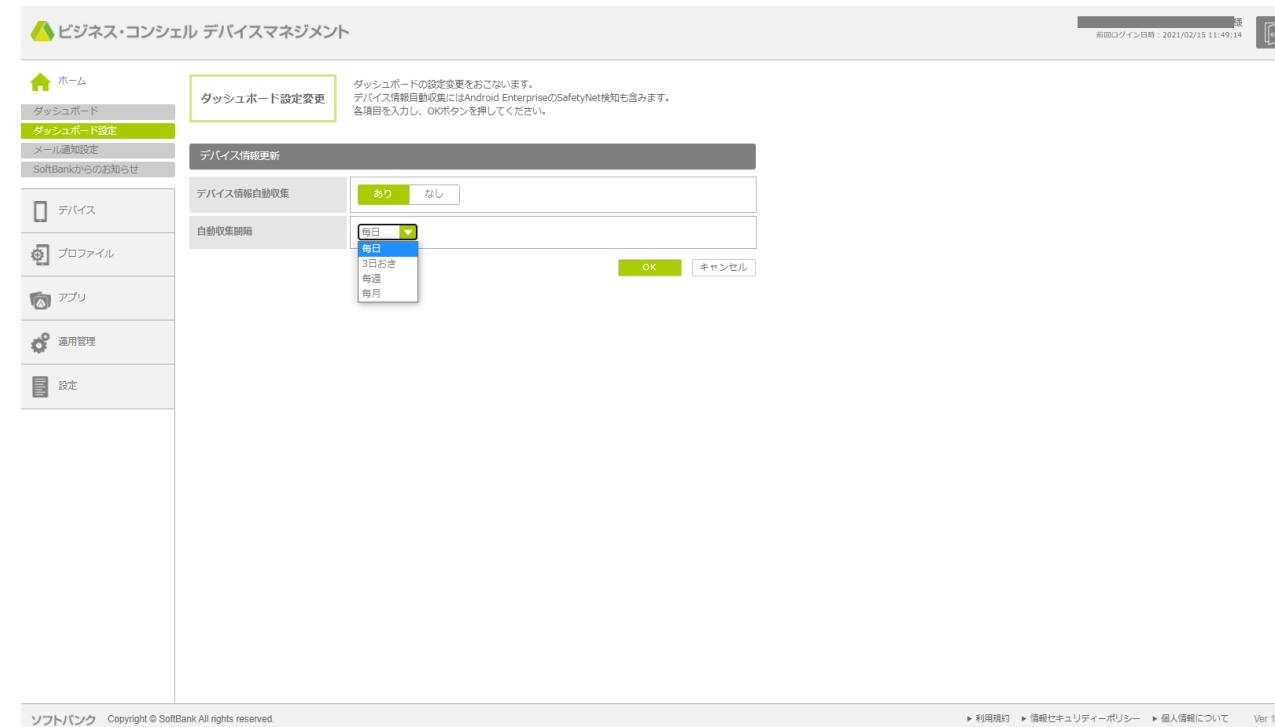
デバイス一覧 CSV出力 CSV一括操作

ソフトバンク Copyright © SoftBank All rights reserved. ▶ 利用規約 ▶ 情報セキュリティポリシー ▶ 個人情報について Ver 12.4

BCDMの管理サイトは、デフォルトではBCDM管理サイトとデバイス間でリアルタイムで疎通を取る設定になっておりません。

必要に応じて、ダッシュボードの設定で「デバイス情報自動収集」を「あり」に変更し、自動収集間隔を任意の期間で設定下さい。

※「デバイス自動収集」を「あり」間隔は「毎日」を推奨致します。



MDM証明書の重複時の確認方法

MDM証明書をAppleサイトに複数登録しているため、更新すべき証明書を取り違えてしまった場合、

「証明書のBundle Identifierが登録済のものと一致しません。

管理者様向けマニュアルをご確認の上、再度証明書を作成してください。(E320)」と管理画面に表示されます。

以下の方法で正しい更新対象の証明書を判別することが出来ます。

まず、MDMサーバに現在登録されているMDM証明書をファイル出力します。

証明書情報 (SoftBank)

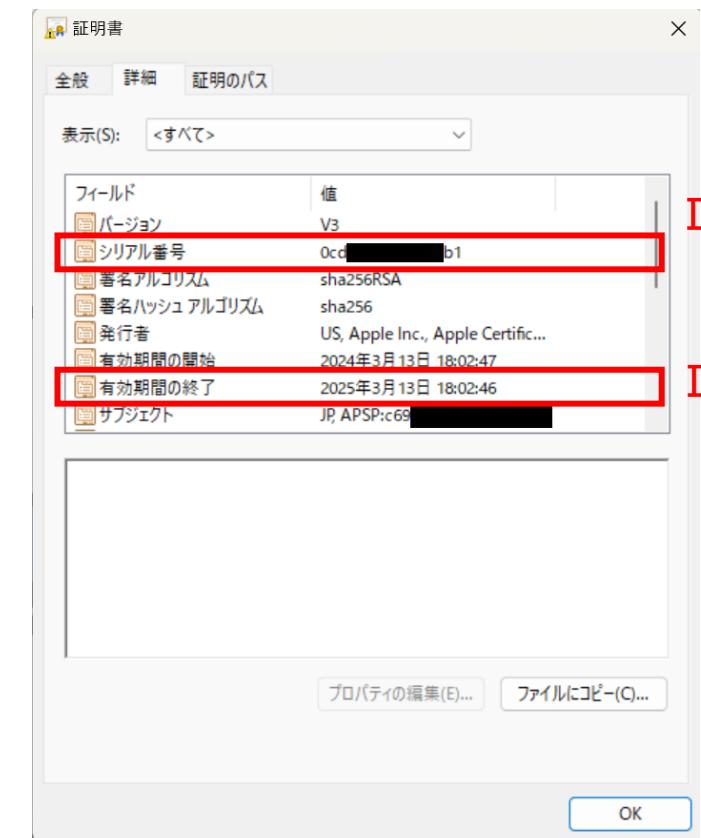
証明書	<input type="button" value="ファイルを選択"/> 選択されていません <input type="button" value="登録"/>
Subject DN	<input type="text" value="[REDACTED]"/>
有効期限	2024/ [REDACTED]
使用したApple ID	<input type="button" value="編集"/> [REDACTED].com

ファイルを選択 .pem

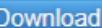
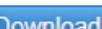
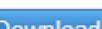
出力したファイルの拡張子を (.pem) から (.cer) に変更してダブルクリックでファイルを開きます。



全般タブの発行先 : APSPの情報 (I) と、詳細タブのシリアル番号 (II) 、有効期限の終了 (III) をメモします。

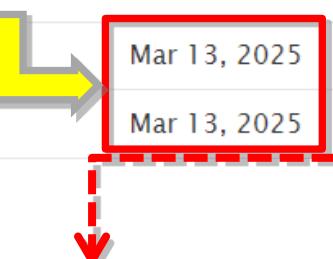


Apple Push Certificates Portalサイトにログインして日付情報
を確認します。

Mobile Device Management	IoT-EX Inc.	Jan 25, 2025	Active	 Renew	 Download	 Revoke
Mobile Device Management	IoT-EX Inc.	Jan 25, 2025	Active	 Renew	 Download	 Revoke
Mobile Device Management	SOFTBANK Corp.	Jan 25, 2025	Active	 Renew	 Download	 Revoke
Mobile Device Management	IoT-EX Inc.	Jan 25, 2025	Active	 Renew	 Download	 Revoke
Mobile Device Management	IoT-EX Inc.	Jan 25, 2025	Active	 Renew	 Download	 Revoke
Mobile Device Management	IoT-EX Inc.	Jan 25, 2025	Active	 Renew	 Download	 Revoke
Mobile Device Management	IoT-EX Inc.	Jan 25, 2025	Active	 Renew	 Download	 Revoke
Mobile Device Management	SOFTBANK Corp.	Jan 31, 2025	Active	 Renew	 Download	 Revoke
Mobile Device Management	SOFTBANK Corp.	Mar 13, 2025	Active	 Renew	 Download	 Revoke
Mobile Device Management	SOFTBANK Corp.	Mar 13, 2025	Active	 Renew	 Download	 Revoke

◆確認点①

先ほどメモした有効期限の終了（Ⅲ）項目と
同じ日付のものを選択



同一日付が複数ある場合は、同一日付のそれぞれの  を押下して次ページの追加情報欄を確認してください。

※M5・M6環境で、Vendorの表示が異なります。

メモした発行先のAPSP情報(Ⅰ)と、シリアル番号(Ⅱ)が**両方共合致**する証明書が更新対象の証明書となります。
対象の証明書を本書P.15～の手順に従って更新して下さい。

Ⅱ：シリアル番号

Serial Number : cd [REDACTED] b1

Subject DN : C=JP, CN=APSP:c69 [REDACTED] 6f8, [REDACTED] 6f8, I : 発行先のAPSP情報

Notes :

M [REDACTED]

Cancel Update Note

Mobile Device Management SOFTBANK Corp. Jan 31, 2025 Active *Renew Download Revoke*

Mobile Device Management SOFTBANK Corp. Mar 13, 2025 Active *Renew Download Revoke*

Mobile Device Management SOFTBANK Corp. Mar 13, 2025 Active *Renew Download Revoke*



※更新対象でない方の証明書は何も操作をせずに放置して頂いて問題ありません。

MDM証明書の無効化

- ・MDM証明書の無効化を実施すると、デバイス登録からやり直す必要があります。実施には、十分ご注意ください。
- ・MDM証明書の無効化を実施すると、キャンセルはできません。
- ・通常の運用において、MDM証明書を無効化する必要はありません。

MDM証明書の取得をする為に、以下のWebサイトにアクセスし、Apple IDを入力してログインします。

Apple Push Certificates Portal

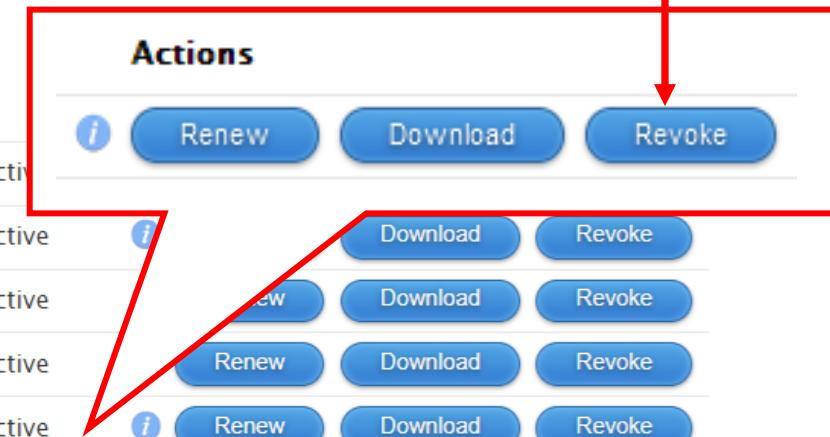
<https://identity.apple.com/pushcert/>



管理メニューから現在利用しているMDM証明書の欄にある
Revokeボタンをクリックします。

①Revokeをクリックします。

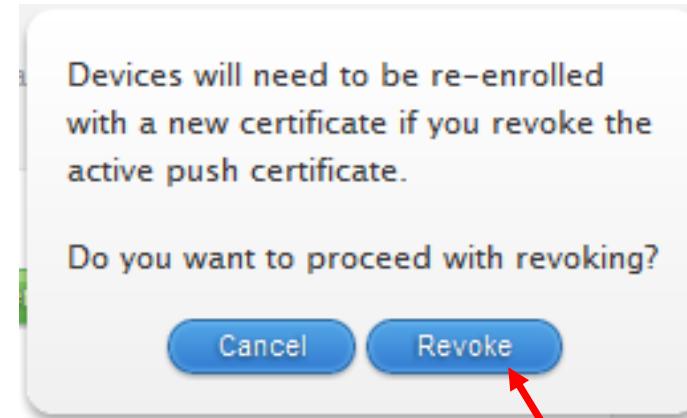
Mobile Device Management	IoT-EX Inc.	Jan 25, 2025	Active
Mobile Device Management	IoT-EX Inc.	Jan 25, 2025	Active
Mobile Device Management	SOFTBANK Corp.	Jan 25, 2025	Active
Mobile Device Management	IoT-EX Inc.	Jan 25, 2025	Active
Mobile Device Management	IoT-EX Inc.	Jan 25, 2025	Active



Revokeボタンをクリックすると、
デバイス登録からやり直すようになります。
ボタンを押さないようにしてください。

※M5・M6環境で、Vendorの表示が異なります。

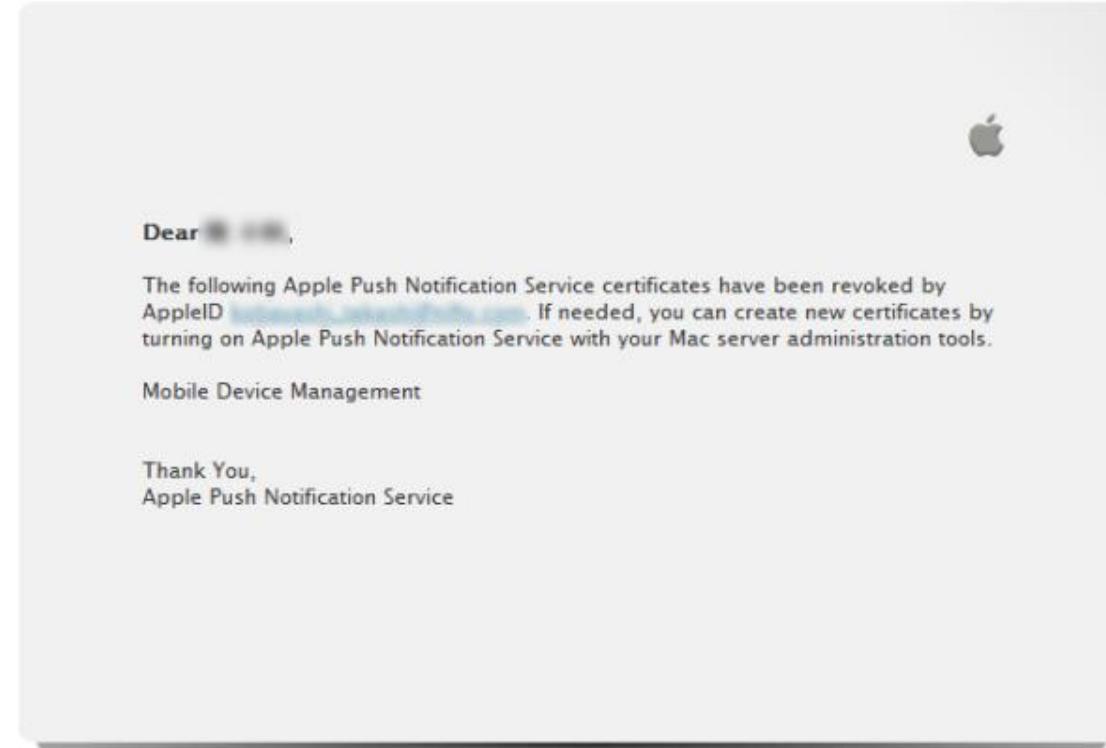
確認のメッセージが表示されますので、Revokeボタンをクリックします。



①Revokeをクリックします。

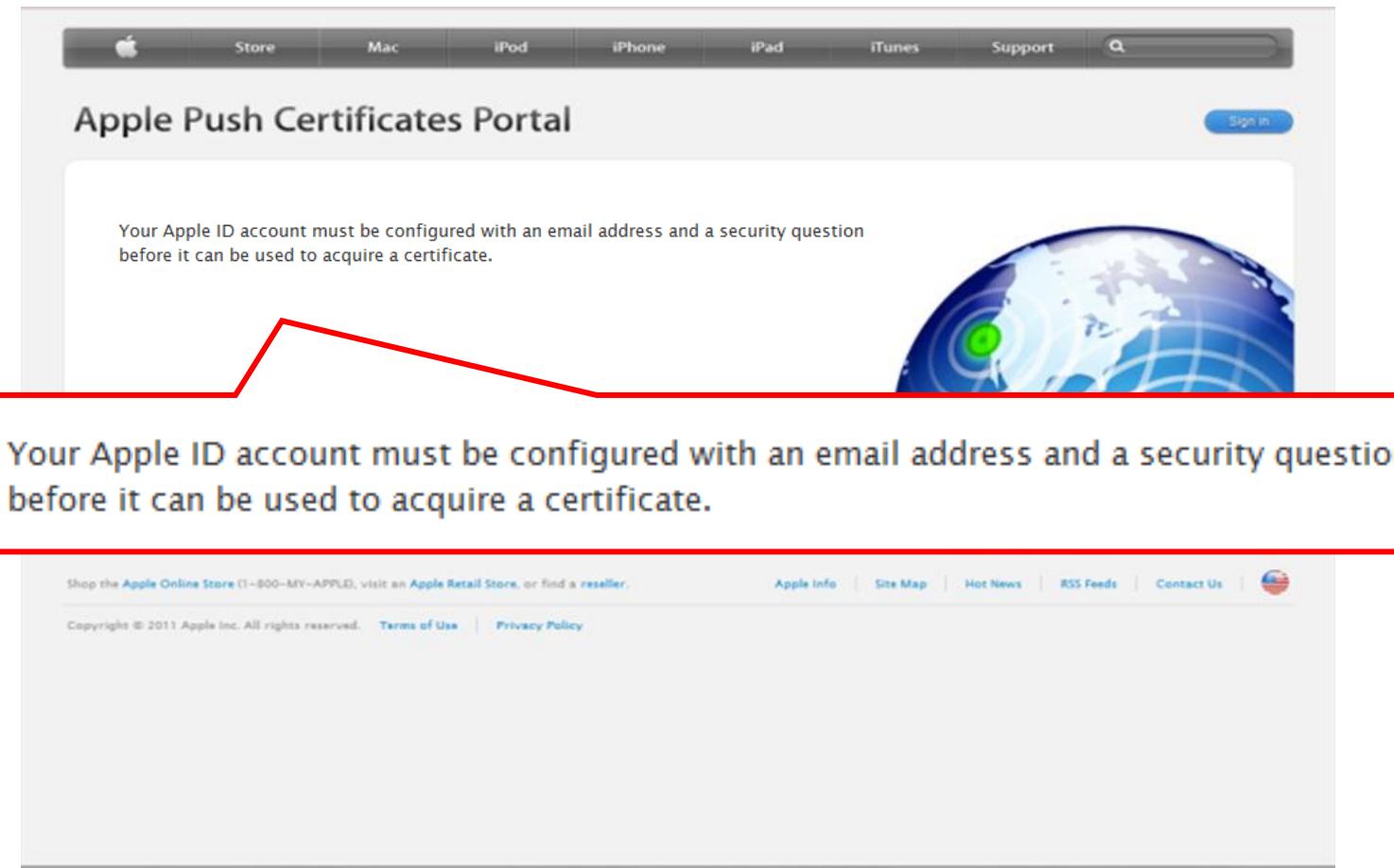
実施すると、キャンセルはできません。
デバイス登録からやり直すようになります。

ログインしたApple IDのメールアドレスに以下のメッセージが
きて作業完了です。



エラーが表示された場合

以下の画面が表示された場合、ログインに失敗しています。

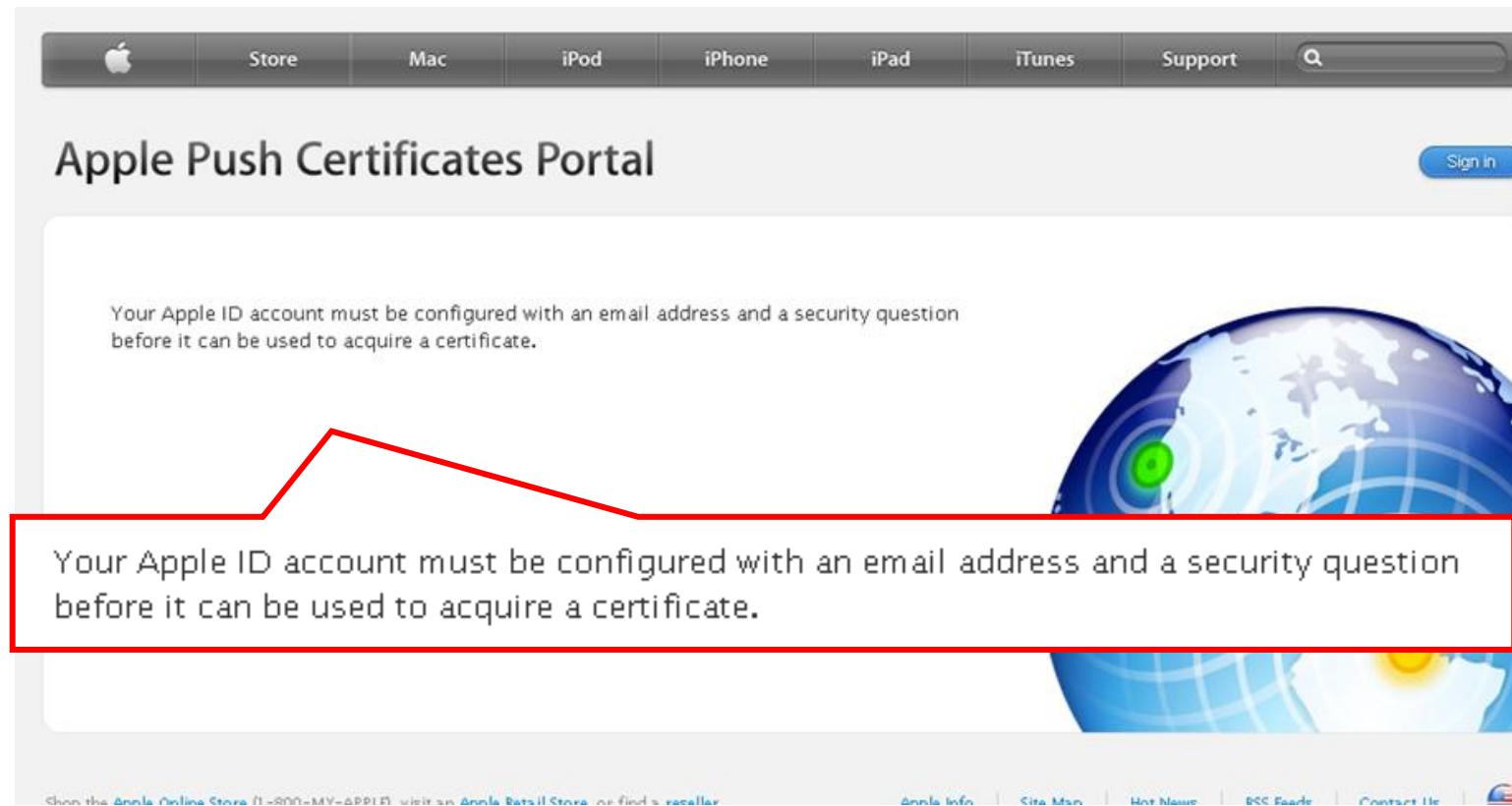


My Apple ID (<https://account.apple.com/>)
にログインします。



再度Apple Push Certificates Portalへアクセスすると
ログインできるようになります。

以下の画面が表示された場合、Apple IDのセキュリティレベルが低いために表示されます。



My Apple ID (<https://account.apple.com/>)
でパスワードを変更します。



以下の画面が表示された場合、5分程度してから再度
ログインしていただくことをお勧めいたします。
再接続時にはブラウザのCookieを一旦クリアしてから
おこなってみてください。

Get Started

To get a new certificate for a OS X server, use your OS X server administration tools.

